

園名	あそか保育園
日時	令和7年3月

1, 活動テーマ

<テーマ>

0歳児・・・様々な楽器に触れ自由に音を鳴らしてみる。

<テーマ設定理由>

一年間、色々な音に触れてきたが、本物の楽器に触れてきていなかったの
で、本物の音や物に触れ、自由に遊ぶことを楽しんでみようと思った。ま
た、いくつかの楽器を用意し、どんな風に使うかも興味がある。。

2, 活動スケジュール

- ①テーブルの上に楽器を置き、子ども達がどうするのかを見る。
- ②自由に触ってみたり鳴らそうとしている姿を見る。
- ③保育士の真似をしてみたり良い音が鳴る方法を見つける。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

木琴（卓上用）すず、タンバリン、マラカス、トライアングル

4, 探究活動の実践

<活動内容>

テーブルの上にある楽器を見つけ、触ってみたり振ってみるなどする。しば
らく触って弄ぶことを楽しむ。トライアングルなどは鳴らし方も分からず
触ってすぐにその場に置いて使わないでいたので保育士が鳴らし方を実践
してみる。子ども達は手で叩いたり振ってみたりしながら音を鳴らそうとし
ていた。

<活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり>

①テーブルの上に色々な楽器を置いてみる。子
ども達はとても嬉しそうに楽器に触ってみたり手の
ひらで叩いたりしている。どのように使うかなど
は分からないので自由に触れていた。



②マラカスは持ち方を知らせていなかったが両手
に持ち振って音を出して喜ぶ様子が見られた。振
ると音が鳴ると言うことがわかり、しばらく遊ん
でいる様子が見られた。



③タンブリンは始め置いてあるものを太鼓のよう
に叩いていた。そのうち持ち上げて振っている姿
が見られる。保育士が叩いて音を鳴らしてみると
良い音がでたと喜び、真似していた。



④トライアングルは楽器の中で一番音を出しづら
そうであった。置いてある状態で叩いても良い音
はならず、振ってもならなかったのので、すぐに子
ども達が手にしなくなっていた。しかし保育士が
トライアングルの音の鳴らし方を伝えると夢中にな
って音を鳴らして楽しむ姿が見られた。



5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

音の鳴らし方（楽器の使い方）を知らない子ども達にとって、本物に触れることがとても未
知のことなのだと言うことがわかった。トライアングルにしてもタンブリンにしてもすぐに心
地いい音が鳴らないからである。それでも子ども達の自由な発想を楽しみながらどんな風に
音を出そうとするのかをみることができた。最後に保育士がやり方を伝えてしまったのだ
が、子どもの発想を大切にすることが大事だったと思う。